

茨城県立歴史館の講師派遣事業（出前講座）テーマ一覧〈平成30年度版〉

当館では講師派遣事業（出前講座）を実施しています。講座のテーマおよび具体的な内容は下表のとおりです。

	タイトル・テーマ名	具体的な内容
1	勾玉づくり体験	縄文時代から作られていた勾玉についての解説と、ろう石を使った勾玉作りを体験します。 ※材料費（1個 300円）がかかります。
2	古墳の話	古墳に焦点をあて、茨城の古代について解説します。
3	考古資料からみた縄文人の交流	遺跡から出土した資料をもとに、縄文時代の人々の交流について、紹介します。
4	中世茨城の仏教	親鸞、忍性など茨城ゆかりの僧たちの動行から仏教の広まりを解説します。
5	中世くずし字解説講座 —初級編—	中世文書をテキストにした、くずし字解説を体験してみませんか。古文書がはじめてでも大丈夫です。
6	奥女中のみた 幕末の水戸藩	水戸藩第九代藩主斉昭の正室吉子に奥女中として仕えた西宮秀が晩年に書いた回想録『落葉の日記』。そこに書かれた奥向きからみた幕末の水戸藩を紹介します。
7	一橋徳川家の美術品	一橋徳川家の能装束に関する古文書を読み、能の装束がどんなものか紹介します。
8	黒沢登幾—幕末・明治を生きる—	幕末勤王の女傑として知られ、寺子屋師匠や維新後の小学校教師として文化・教育の発展に貢献した登幾の生涯を、日記や和歌などの資料をもとに紹介します。
9	常総地方における旧城下町の歴史的変遷—下妻陣屋町を事例に—	下妻の都市形成過程と明治期の都市構造について、絵図・文献史料を基に紹介します。
10	佐藤進「渡洋之記」を読む	日本最初のドクトル佐藤進のドイツ留学時の渡航日記「渡洋之記」を読みときます。
11	茨城の伝統工芸	県内の工芸品や職人の技術を、記録映像や制作工程も含めて、紹介・解説します。
12	民俗学者・藤田稔のみた茨城	写真資料を〈読む〉ことを試みながら、茨城を代表する民俗学者・藤田稔のまなざしと足跡を紹介します。
13	千波湖の歴史	当館で所蔵している資料から、千波湖のあれこれを紹介します。
14	茨城のみち —交通網の移り変わり—	茨城県の道路や鉄道を中心とした交通網の変遷について紹介します。

15	水害の歴史	「災害は忘れた頃にやってくる。」とは昔からよく言われますが、本県を襲った災害のうち「水害」にまつわる話を、資料を用いて解説します。
16	公文書館とは	「公文書館」とはどのような業務を担っているのか。県の行政文書の整理・保存に関する内容を、写真を用いてわかりやすく解説します。

【活用の方法について】

①お申し込み

上表のテーマ一覧から希望の講座を選んでいただき、教育普及課までご連絡ください。その後、実施に向けての詳しい打ち合わせを行います。

※申し込みから実施までは1か月はみていただきたいと思います。お早めにお申し込みください。

※講座担当者の展示作業、調査などのため、お日にちの調整ができない場合があります。ご了承ください。

②経費 交通費（旅費）の負担をお願いします。（講師謝礼等は必要ありません）。

※ 出前講座は、原則公民館等の公的団体のみの受付となります。どうぞご了承ください。

問い合わせ先

茨城県立歴史館 管理部教育普及課「出前講座担当」

〒310-0034 水戸市緑町 2-1-15

電話 029-225-4425 FAX 029-228-4277

E-mail: daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp